

事業所名

児童デイサービスここから

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		共に生き、共に育つ					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性・個性を大切にし、良好な信頼関係を構築して、楽しい経験ができるようにします。 子どもたちの成長する力を信じ、達成感や自己肯定感を培うことで、新しいことへの挑戦や、人との関わりを楽しめる意欲を育みます。 お友達や職員とのやりとりを通じて、自分の思いを相手に伝えることを学び、相手を思いやる心を育て、社会のルールや適切な関わり方を学べる場にします。 					
営業時間		14 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時に自分の荷物をロッカーにしまい、連絡帳を出すなど、身辺管理の自立が図れるよう支援します。 公園遊びから施設に戻った際や、排泄後、おやつ前など、適宜手洗いの機会を設け、自主的に行動できるよう促し、衛生観念を養成します。 おやつ後は自分で食器やゴミを片づける、中高生は制服から私服に着替えるなど、整頓や更衣など機会を設け、生活能力の自立を図ります。 排泄においては、定期的な声掛けやお出かけ前、帰宅前などにトイレに行くルーティンを設け、排泄の自立を目指します。					
	運動・感覚	公園に遊びに行く機会を積極的に設け、身体を動かし粗大運動の発達を促します。 アート活動や音楽活動、クッキング活動を通して微細運動や視覚、聴覚、触覚等の発達を促します。					
	認知・行動	公園に遊びに行き、ルールのある遊びを取り入れたり、活動の環境を整えることで、これから何をするのか理解しやすいように提供します。 活動前や帰宅前に子どもを集めてお話をするルーティンを取り入れ、職員のお話を聞く場を設定し、必要に応じて視覚支援を取り入れることで見通しを持ちやすい環境にします。					
	言語 コミュニケーション	挨拶からはじまり、職員の名前を呼ぶ、自分のやりたいことを伝えるなど、子どもの発信を大切にします。 おもちゃを写真で一覧化したり、絵カードなどを用いて、発語がない子どもも自分の気持ちを発信できる環境にします。 表情や子どもの行動に対するリアクションなど、言語によらないコミュニケーションを意識的にわかりやすいように接します。					
	人間関係 社会性	職員と接するところから、少しずつ子ども同士で交流ができるよう、活動を通じてお互いのことを意識できるよう協力、競争、共感の機会を提供します。 子ども同士のやりとりに、必要以上に職員が介入しすぎないように留意し、対立、譲歩、受容など、人間関係を円滑にするために必要な経験を大切にします。 地域の店舗や公共交通機関を利用する機会を設け、社会的なルール、マナーを学び、経験を通して問題解決能力の向上も図ります。					
家族支援		年に2回、定例で保護者会を開催し、保護者同士が繋がれるよう支援します。 連絡帳などを通じて、家庭での悩みや将来の不安などを共有していただき、必要があれば対面、電話等で相談に応じます。			移行支援		併設されている短期入所への利用をご希望される際、情報共有を行い安心してサービスを利用できるよう配慮します。 保護者の要請に応じて、就学支援シート等を発行します。
地域支援・地域連携		年に1回、施設でイベントを開催し、近隣住民や卒業生なども招待しています。 地域の住民や店舗と顔見知りの関係を築き、いざというときに協力していただけるよう関係性を大切にしています。			職員の質の向上		事業所で開催する研修が年2回、法人が開催する研修が年1回あるほか、必要に応じた研修を職員に受講してもらいます。 各種委員会活動を通じて、知見を広げていきます。
主な行事等		ここからまつり（年1回） 節分、ハロウィン、クリスマス等季節に合わせたイベント 夏休みのお出かけ・プール活動 避難訓練（月1回）					